

なかよしさいくる

## 輸行マニュアル

この輸行マニュアルは、2011 年度に田頭さんが作成した新歓用安全マニュアルから抜粋したものです。この場をお借りして感謝いたします。

### 輸行

---

#### 輸行する！

新歓ランでは、走る場所へは大抵電車を使う。その際、自転車はそのまま電車内には持ち込めない。ホイールを外して小さくし、専用の袋に収納してから持ち込む、「輸行」を行う必要がある。輸行袋の仕様、流派により様々な輸行方法があるが、ここでは一般的なものを紹介する。

#### ① 前後のブレーキを解放する。

キャリパーブレーキ(主にロード)はクイックリリースを横向きに回す。

Vブレーキ(主にクロス)はクイックリリー

スから小さい管<sup>1</sup>を外す。その際、ゴム製のカバー<sup>2</sup>をずらし、押し込むようにするとまく外れる。

#### ② ホイールを外す。

まずは後ろのギアを軽いほう(アウター)に入れる。その後ホイール中央のクイックリリースレバーを起こし、逆ネジ方向にある程度回すと外れる。

#### ③ エンド金具を取り付ける。

後輪があったところに、レバーを用いて取り付ける。電車内ではサドルとエンド金具を支点にして置くため、サドルとエンド金具の接点が同一平面上に来るようにする。

#### ④ 輸行袋に入れる。

まずフレームを袋の表記通りの方向に入れ、フレームの横から挟むようにしてホイールを入れる。この際、両ホイールが「八」の字状になるとよい。ハンドルで片側のホイール

---

<sup>1</sup> ヌードルっていうらしい

<sup>2</sup> ブートっていうらしい

を挟み、安定するようにホイールとフレームをヒモを用いて固定する。

⑤ 輪行袋をしめる。

輪行袋の口を閉じ、肩掛けヒモを装着する。地面に置くときはチェーン側を上、サドルとエンド金具側を下に。

⑥ 電車に乗る。

他の乗客の邪魔にならないように。少人数ならば先頭・最後尾車両へ、大人数ならば各車両に分散して乗り込む。座席の端に迷惑にならないように立てかける。必要ならばヒモで固定。

⑦ 輪行解除する。

基本的には輪行と逆の手順を踏む。リアホイールを装着する際は、うまくギアがチェーンに嵌るように。シャフトのクイックリリースは、小指では起こせない程度の強さで閉じることがよい。緩すぎ・強すぎ注意。

走る前に、自らの目で・自らの手で、自転車を触ることで、本当にこのままの状態でも問題ないかを確認する必要がある。

・ ホイールは正しくはまっているか？

・ ブレーキのクイックリリースはきちんとしめてあるか？

・ 前後ブレーキはきちんと使えるか？ (=ブレーキシューが正しくリムに当たっているか、シューが減っていないか)

・ タイヤの空気圧は十分か？

・ ハブ、ヘッドにガタはないか？ (=ハンドルを10センチほど持ち上げて落とし、グワワンと音がする→ヘッドのガタ。ホイールを手で横に動かしてみてもがたがたする→ハブのガタ。)

**走る前に！**